

社会福祉法人鶴風会

後援会ニュース

No.36(平成8年)

社会福祉法人鶴風会

後援会

東京都武藏村山市学園4-10-1
☎0425-61-2521
事務所・東京都中野区
本町2-15-13 ☎03-3372-7650



新病棟の竣工にあたり、後援会会長桑原章吾先生のご挨拶、施設長鈴木康之先生の御礼とご報告並びに 大谷巖看護部長のお話ををお載せ致しました。

新病棟の内部の写真を竣工記念誌 “はぐくむ” の中より掲載致しました。ご一覧下さい。

鶴風会後援会の皆様へ

後援会会长 桑原 章吾

後援会の皆様方には、暑気の季節も過ぎようやく爽涼の秋も近く、お元気に御活動のことと存じお慶び申上げます。昨年十一月、前会長近藤龍一先生が長い御闘病の甲斐もなく御逝去されました後を受けて、倉島先生はじめ関係の皆様のおすすめで、誠に微力ながら私が後援会会長を勤めることになりました。近藤先生の御力には及ぶべくもありませんが、精一杯努力しますので、よろしくお願ひ致します。

私は昭和二九年から微生物学教授として東邦大学医学部に勤務し、学生紛争が起っていた昭和四四年

年から平成三年まで二二年間法人理事長として大学、短大、中高校の運営管理の任に当りました。

従つて昭和三九年東京小児療育病院開設から現在まで三十余年の経過はかなりよく知っている者の一
人であり、それだけに本年五月新

病院の完成には、いわば「夢のよう」うれしさを感じています。

それは病院開設以来関係者の皆様が目指してきた肢体不自由児の療育の目標にかなり近い施設、設備を実現できることを意味していま

す。

現状に到達するまでの道程は決して平坦ではなく、幾つかの大きな「壁」がありました。私がこれまで誠にすばらしいと感じているのは、当事者、関係者の皆様がその障害を回避しないで正面から解

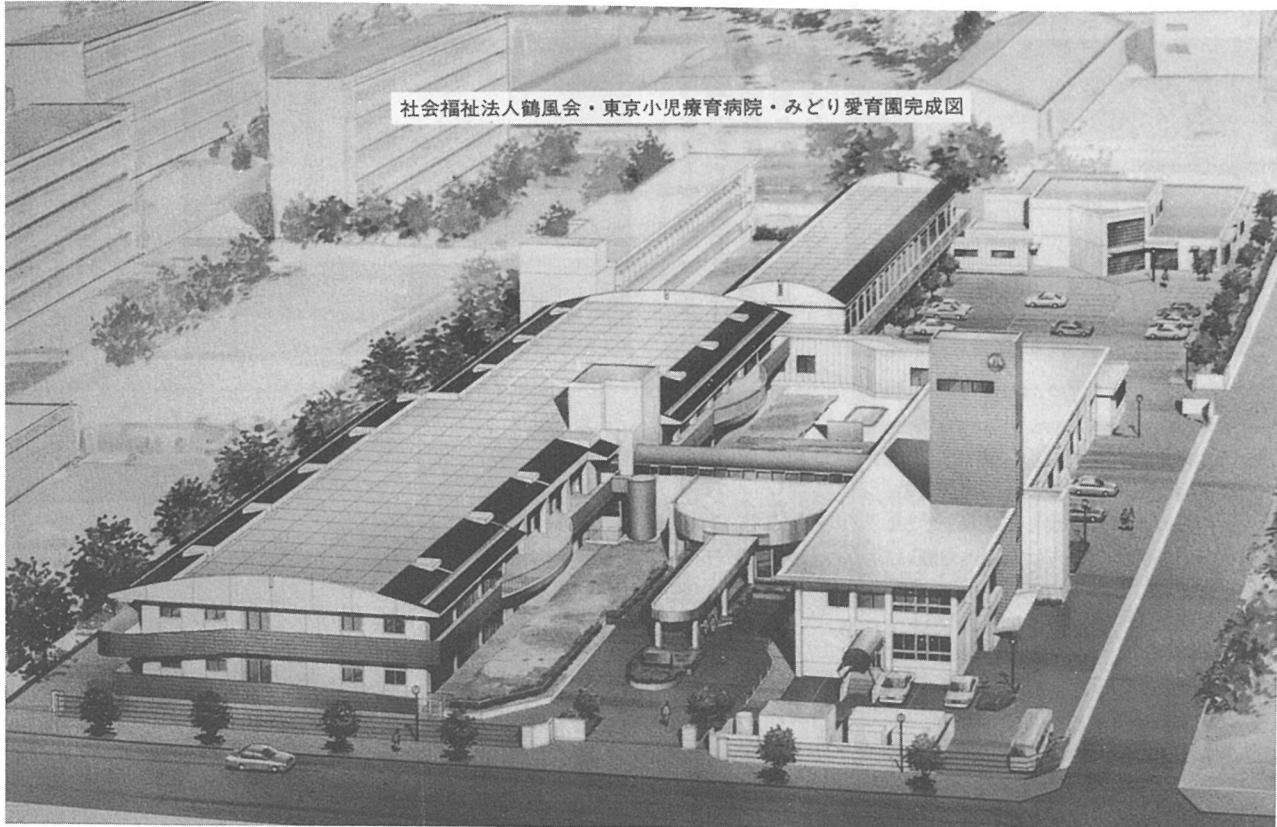
決に取組み、正しい手順でそれを排除し、今日の組織、病院を完成させられたことです。鶴風会、病院の発展の歴史は関係者全員の努力の集積によってできています。

しかし、病院の完成は鶴風会事

業の最終の頂点ではありません。この施設、設備を十分活用して療育の成果を向上させること、医学の不斷の進歩を常に怠ることなく採り入れて療育内容の発展を計ることが次の大きな課題です。病院の完成は鶴風会の目標への踏み台であることを忘れないで下さい。

これから病院と子供さん方の将来を支えるため、私たちはキメ細かいお手伝いの企画を実践していきたいと存じます。一層の御支援をお願いします。

社会福祉法人鶴風会・東京小児療育病院・みどり愛育園完成図



竣工にあたつて

施設長 鈴木 康之

計画から六年あまりをかけた施設建て替え工事も、無事に竣工を迎えることができました。ご援助いただき、ご後援いただいた皆様に、心からお礼申し上げます。

平成三年七月の施設建て替え決定以来、法人・後援会・父母会・職員を挙げての募金活動が行われました。その中心的推進役であられた近藤龍一先生も、倉島理事長を支えられた倉島 豊様も施設の完成を見ることなく、ご他界されたことは残念でなりません。しかし、お双方はじめ多くの皆様の暖かなご援助がこの建て替え可能にして下さいました。

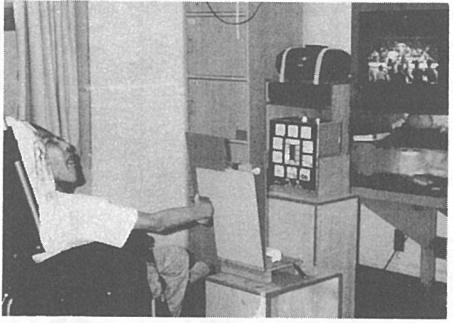
建替えは、以下のような考え方を基本としました。
 (1) 重度で、他の地域福祉資源で対応が困難な障害児・者の医療・福祉の必要性に応えること。
 (2) 早期発見・早期療育、日常の医療管理、一時介護、訪問診療体制など、在宅援助機能を整備する。
 (3) 総合療育をめざし、障害種別を問わない

このため、利用者主体、安全で衛生的で健康的な環境、職員にとって効率よい施設、将来的に多様な対応に応えられる構造であることをめざしました。

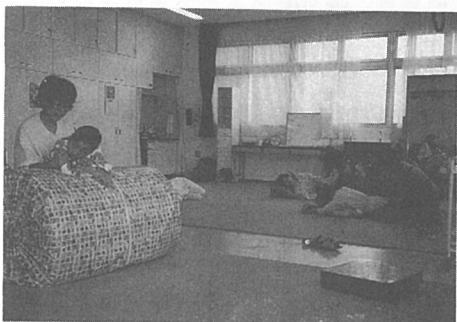
なによりも障害児・者を第一にする施設であり続けたいと思います。今後ともご指導の程、お願い申し上げます。



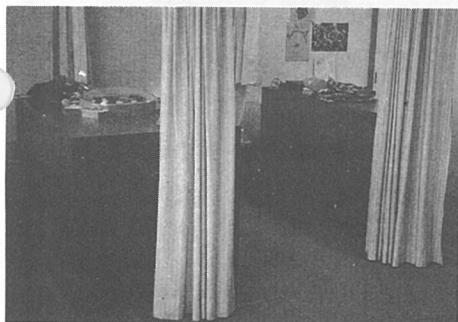
病棟専任制に伴い子供達に体操や勉強会を設けている病棟もあります。



余暇時間の過ごし方の一つとして生活拡大へ



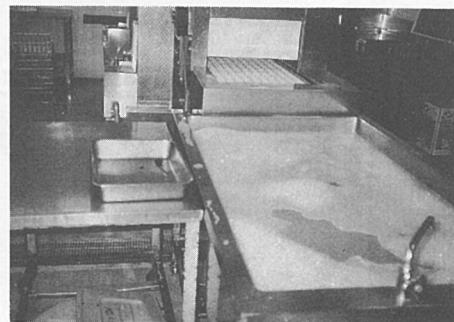
(訓練室)
西病棟内の訓練室には、酸素や吸引の配管や、移乗用リフトも設置され、利用者の訓練がとてもしやすくなりました。



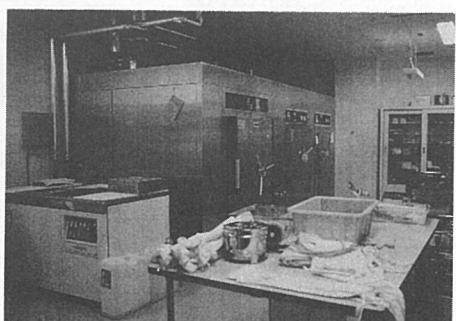
(プライベート空間) プライベート空間ができるから子供達はワーワーで詩を作ったりおしゃれをしたり、個々の時間を工夫して作れるようになりました。

(リフト) 病院内にリフトを設置しました。天井にレールを巡らせて固定式のものです。移動手段として利用者にも、看護者にも役立つと思います。

(調理室) 調理室は調理・配膳・仕込み・調乳・洗浄とそれぞれのゾーンを決めて設計されました。洗浄機の導入により作業が合理化されました。



(中央材料室)
利用者の重症化に伴い、特に気管切開者や、経管栄養に関連した物品の増加が著しい為に、今回チューブ洗浄器、超音波洗浄器、印字付シーラーの購入。オートクレーブの増設で業務改善がはかられました。



☆御寄附振込方法☆

後援会ニュースと合わせて郵便局の振込用紙のみを同封致しておりますが、銀行の方が御便利の方は下記へお願ひ致します。

- 三菱銀行中野支店（店番151）
- 普通預金
- 口座番号 4107235
- 口座名
- 社会福祉法人 鶴風会後援会

看護部長 大谷 巖

今夏は、猛暑がつづきました。

八月に帰省された利用者の方々も過ごしづらい日々であったと思います。また、何んらかの都合により外泊できなかつた利用者の方々も、病棟毎にイベントが行われ楽しい一時を過ごされました。

さて、建て替え終了に伴う竣工式、感謝会も無事乗り切ることができました。御父兄の皆様、後援会の方々の並々ならぬご支援の賜ものと感謝いたしております。新しい病棟の環境にもなれ、広い生活空間のなかで一定のリズムで生活が進んでゆきます。楽しい食事、登校、外出、遊び、宿泊、盛り沢山の行事など上げたらきりがありません。でも、私たち職員が何時も思うことは、利用者にとっては当り前の学習体験であるということです。

病棟そのものが生活の場所と限られているからこそ、利用者の方により多く体験し、より多く学ぶ環境づくりが大切と思うのです。職員にとって、それぞれの専門性を生かしながら計画をたて実施していく姿勢こそ、職業人と言えましょう。

ところで私事となりますが、先日悪友と飲みながら話すうちに、

『近頃お城を見にあちこち出かけていると聞いているが、どこがいいのかね：俺にはその心境がわからぬ』と言ひながら説明を求めていたので、各地方のその時代の城の特徴とか城主の系図、権力者に対する農民一揆、城にまつわる逸話などおもしろ可笑しく話しました。

何しろ酒もだいぶ入り、ほど酔い加減でしたから…？

柵から莊になり砦となって城に到る歴史は、支配者の権威の象徴としてのみだけでなく、農民が農地を守るために防衛の知恵として造り出された事が最初であると…私は自分の趣味から、その時代に生きた人間の英知の深さ、生き抜くためのしたたかさを知ることができました。

今ふうに言えば、『生き抜くということは』生活のなかで『したたかさ』を忘れてはならないと言ふことでしょう。

その点では三十年という看護人生を歩みつけた今、この場にいる自分自身を振り返ると、いつの間にか『したたかさ』を身に付けてしまったと思う。このことが今後の仕事にどう影響していくのか楽しみである。

♡ チャリティ・バザールへのお願い ♡

日 時 平成 8 年 11 月 10 日 (日)

場 所 東京小兒療育病院

昨年のチャリティ・バザーには、多くの方々や協賛会社の御支援によりまして、600万円余の純益をあげることができ、誠に有難く、厚く御礼申し上げます。本年も何卒よろしくお願ひ致します。食料品、調味料、酒類、石鹼、洗剤、陶、漆品、文房具、書籍、衣料品（新品又は新品に近いもの）など御寄贈をお願い申し上げます。

○御寄贈品は既に受付ております。

○連絡先 病院 武藏村山市学園4-10-1 ☎ 0425(61)2521
後援会 東京都中野区本町2-15-13 ☎ 03(3372)7650

✿第8回チャリティ・パーティ コロニスの会への御誘い✿

第7回コロニスの会は、昨年、帝国ホテルに600余名の皆様がお集まり下さり、盛会裡に400万円の純益をあげる事ができました。一重に、ご協賛下さいました企業、御参集の皆様の御厚情の賜物と一同感謝致しております。本年は二期会の佐藤光政氏を迎えて、趣向をあらたに素敵な一夜をと企画しております。年末のお忙しい時期ではございますが、お説い合わせ、御参加下さいます様、お願い申し上げます。

日 時 平成 8 年 12 月 8 日 (日)
場 所 帝国ホテル(孔雀の間) 夕刻より
予定人員 600 名

連絡先 鶴風会後援会 コロニスの会
東京都中野区本町2-15-13
☎03(3372)7650

国北木岸鎌金勝加勝金勝川岡大岡奥小小岡大奥岡大江上内上漆内石泉伊今飯石石岩五石朝阿阿朝新新青安
方川山田子目藤目森田島村城本村熊野田関田崎谷口井田畠ケ田水東村田塚川重十川倉部部山井木西
ク三英セさ美崎貴風
澄七博芳郁ニ元愛勝枝世晴康研ツ和と嘉靖明環晴知仁哲モ美和通キ泰い文芳正京幸恒悦美
子也夫正子子宏浩子士子子美修介三ヨ郎子忍門子子禱夫孝子修子朗昇ト子成子ク子づ子啓久和子裕子子代
倉蔵金岸木甲川加葛金神笠小沖荻大大奥沖岡大大及江鶴梅鶴内牛臼一伊石今伊井一井天秋浅相朝新赤相
根方亀村斐北藤西子田原田田原木橋住野村木脇川部川田養出込井林藤井井藤上宮石上沼元見野見山羽沢
糸系甲ま稜俊シ美莊ま奈
理節業直子俊り喜ゆ威敬け昭一和一佳マ英照登正澄洋一重文レつ寫種勝静瑞保薰京豊浩淑久工
一子(株)郎吉え久み雄子克い泰郎男雄子子枝貞寛里法子道郎三繁子イ江子子也子穗満子子子行子子
工蔵北菊木鎌神川川兼河釜沖岡岡大小大奥小冲大及江宇梅上内梅臼伊石井池井石伊諫伊浅赤安青荒足秋姉
藤並野池内田上野松津泡永村田野日山原津熊川口都田木不出原井東井上田口田藤山藤島沢藤木木立山小路
千志美登サ方和宮み喜
敬賀げ微樹武報晴志洋正研益ツ惟經談く加と幸は艶和公潔高一札久ち秀公和裕孝高う盤枝嘉延和
きん子子雄明子子彦綠子子道吉之キ忠夫一ら進子め枝子子江子仁徳子子よ子子子禮雄子夫子子子

鶴風会後援会」寄付者」芳名

平成八年二月（平成八年七月
延五一二名（敬称略）

